

播磨町職員

入庁時の町の様子やこれからのまちづくりについて聞いてみました。



思いやりのあるまちづくりを
地域みなさんと一緒に

平成5年度入庁
沖崎 充世さん

「育ったまちで多くの人に貢献できる仕事をしたい」と思い入庁、福祉事業の推進に関わっています。高齢化、生活困窮、ひきこもりなどさまざまな課題がありますが、支え合い安心して暮らせる、思いやりのあるまちづくりに、地域みなさんと一緒に取り組んでいきたいです。

時代に合った行政サービスを

平成15年度入庁
岡本 光嗣さん

町の貴重な自主財源である町税の業務に従事しています。播磨町は、日常生活に必要な資源がそろっていて、とても住みやすいです。住民と行政の距離が近く、各分野で今の住民ニーズを知ることができます。これからも時代に合った行政サービスが実施できるように、業務に励んでいきます。



播磨町の未来を育みたい

平成25年度入庁
小河 香織さん

私は生涯学習グループで子どもから高齢の方まで世代や場所を問わず学び、活躍できる場を設ける仕事を担っています。私の入庁後にあらゆる世代のみなさんが楽しめる施設「うみえーる広場」が誕生しました。今後も世代を超えた交流を促進することで、未来の播磨町を育んでいきたいです。

住み続けたい、
戻ってきたいと思えるまちに

平成27年度入庁
下岩 武史さん

入庁から土木グループ一筋7年目。播磨町駅前線のバリアフリー改修工事や、望海公園整備工事などに携わってきました。特に望海公園は、海を眺めながらパーベキューができる公園として自慢ですね。住民の方が緑とふれあい、まちに愛着を持てるような整備やシステムを進めていきたいです。

